Minx C46 天井スピーカー

Manual Generated: 23/04/2024 - 13:14

Table of Contents

Minx C46 天井スピーカー 3
はじめに 3
Minx C46に含まれるもの 4
インストール手順 5
技術仕様 6
よくある質問 7
トラブルシューティング 8

Minx C46 天井スピーカー

Last updated: January 6, 2023 08:12. Revision #12174

ユーザーマニュアル

はじめに

Last updated: January 19, 2023 05:43. Revision #11060

本ガイドは、本機を可能な限り速やかに、かつ簡単に設置し使用できるようにすることを目的に作成されました。本書に掲載の情報は印刷の時点でその正確性に万全を期していますが、継続的な向上がCambridge Audioのポリシーということもあり、設計や仕様は予告なく変更されることがあります。

本書には、著作権により保護された占有情報が含まれます。無断複写・転載を禁じます。当該の製造者の書面による事前の許可なくして、機械や電子、またはその他のいかなる方法によっても本書の一部または全部を複製することを禁じます。商標および登録商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。

 Copyright Cambridge Audio Ltd

新製品、ソフトウェアアップデート、キャンペーンなどに関するニュースの受信をご希望の方は、以下でご登録ください:

http://www.cambridgeaudio.com/register

Minx C46に含まれるもの

Last updated: January 19, 2023 05:43. Revision #11061

1.Minx C46 天井スピーカー×1

インストール手順

Last updated: January 19, 2023 05:43. Revision #11062

1. まず、付属のテンプレートの内側から段ボールパッドを取り外して、選択した場所の取り付け穴の位置をマークします。

注意:75mm(3インチ)のダウンライト穴あけ鋸の使用をお勧めします。

2.スピーカーを天井または壁に取り付けるときは、それぞれの空洞内に十分な深さ/隙間があることを確認してください。Minx C46の場合、最低95mm(3 3/4インチ)の隙間が必要になります。

3. 赤のプラス(+)と黒のマイナス(-)スピーカーケーブルをMinxC46の関連端子に接続します。これらが正しく一致していることが重要です。

4. 次に、金属製クリップを上に押し上げ、2本の長い方のアームを天井の穴にはめ込みます。

5. 取り付け穴にしっかりと収まるまでスピーカーを上に押します。

技術仕様

Last updated: January 19, 2023 05:43. Revision #11063

感度 (SPL)
86dB (2.83 Vrms入力)

周波数特性
120Hz - 20kHz

インピーダンス
8Ω互換

推奨アンプ出力
25-200W高出力アンプを使用すると、ボリュームスケールを下げると歪みが少なくなり、音質が向上します。スピーカーがエンドストップに当たったときに歪んだ音や機械的な「ひび割れ」が聞こえる場合は、スピーカーの再生音が大きすぎるため、損傷する可能性があります。AVRでは、Minx C46スピーカーを140Hzのクロスオーバー周波数で「小」に設定する必要があります。この構成では、電力ハンドリングが大幅に増加します。

ドライバー
2.25インチウーファー×1

スピーカー寸法 (高さ x 幅 x 奥行)
98 x ø 88mm (3.6 x ø 3.4")

重量
0.46kg (1.01lbs)

よくある質問

Last updated: January 19, 2023 05:43. Revision #11064

スピーカー感度とはどういう意味ですか?

スピーカーの感度は、アンプから1ワットの電力が供給されたときに、スピーカーが1メートルで生成するレベルです。これは、特定の入力に基づいて、スピーカーが音響エネルギーをどれだけうまく生成するかを説明する方法です。レベルはdBSPL(「音圧レベル」の略語)で測定され、音は基本的に空気圧の変動であるため、SPLが表示されているときはいつでも、「現実世界の音」を意味しています。例えば、87dBの感度のスピーカーと90dBの感度のスピーカーがあるとします。3dB増すごとにパワーが2倍になるので、90dBのスピーカーの方がかなり大きくなります。

インピーダンスとは何ですか?

スピーカーやアンプについて調べると、インピーダンスが言及されることがよくあります。インピーダンスは基本的に、特定の周波数で測定された抵抗であり、オーム(Ω)の値として与えられ、スピーカーによってアンプにかかる「負荷」を決定するため、オーディオシステムをセットアップするときに考慮することが非常に重要です。

たとえば、8Ωのスピーカ負荷に100Wを供給する定格のアンプがあるとします。インピーダンスが4Ωのスピーカを同じアンプで使うと、アンプの負荷が軽減され、インピーダンスが半分になると必要な電力が2倍になるため、アンプは200Wを供給する必要があります。

このような状況では、アンプが低インピーダンスに必要な電力を供給できない場合、過熱し、アンプとスピーカーが損傷する可能性があります。

このため、アンプの仕様と推奨されるインピーダンス定格に注意を払うことが重要です。

トラブルシューティング

Last updated: January 19, 2023 05:43. Revision #11065

片方または両方のチャンネルからサウンドが聞こえない
 アンプの電源が入っていることを確認してください。
 アンプで正しい入力ソースが選択されていることを確認してください。
 アンプとラウドスピーカーの接続が安定していることを確認してください。
 ソース機器とアンプの接続がしっかりとできていることを確認してください。
スピーカー接続の極性を確認してください。
アンプの音声調節が正しく設定されていることを確認してください。

音が歪んでいる、または不安定
 アンプとラウドスピーカーの接続が安定していることを確認してください。
スピーカー接続の極性を確認してください。
 ソース機器とアンプの接続がしっかりとできていることを確認してください。